

平成 25 年 11 月 14 日

岡谷市長 今 井 竜 五 様

岡谷市基本構想審議会

会長 横 内 敏 子



第 4 次岡谷市総合計画後期基本計画について（答申）

平成 25 年 8 月 26 日付 25 企第 31 号をもって貴職から諮問されました第 4 次岡谷市総合計画後期基本計画について、本審議会は慎重審議の結果、別添のとおり答申します。

(別 添)

地方分権の進展により地方自治体は自主・自立の運営を求められていますが、岡谷市は、激動する社会情勢と長引く景気低迷の中、厳しい行財政運営を強いられていると思います。リーマンショックに端を発する経済不況は、産業界ばかりでなく私たちの生活にも大きな影を落とし、アベノミクスの効果もなかなか実感できない状況にあります。加えて、平成18年7月の豪雨災害や平成23年3月に発生した東日本大震災などの大規模災害と福島第1原子力発電所事故の発生を受け、生活の「安全・安心」を求める市民の声が高まってきており、私たち市民が行政に求めるニーズは年々多様化し、複雑化してきています。

今回諮問された第4次岡谷市総合計画後期基本計画は、基本構想に掲げた将来都市像である「みんなが元気に輝くたくましいまち岡谷」の実現に向けて、今後5年間に岡谷市が進んでいく道筋が明確に示されており、その推進に大きな期待を寄せるところですが、厳しい財政状況の中では、優先度を見極めて事業を実施することが大切になってきます。

特に、後期基本計画を推進していく今後5年間は、私たちの生命と健康を守る新岡谷市民病院をはじめ、新消防庁舎、新蚕糸博物館、看護専門学校、諏訪市、下諏訪町と取り組んでいる新ごみ処理施設など、市民生活の安全・安心を守り、健康で生きがいを持って暮らしていくための生活基盤を支える施設が次々に完成してまいります。こうした施設を、市民に親しまれ、愛される施設として、有効に活用し生かしていくことが重要となってきます。

そのためにも、具体的な取り組みを市民にわかりやすく提示し、市民の理解と協力を得ながら本計画を力強く推進していただくようお願いします。

本審議会では慎重に審議を重ねた結果、市民の幸せな暮らしの実現と、岡谷市のより一層の発展を願い、次のとおり意見・要望を添えて答申とします。

意見・要望等

【 全般的事項 】

1. 近年、全国で発生している大規模災害により、市民生活への不安が増してきています。市民の生命や財産、健康を守るための重点プロジェクトである「安全・安心の伸展」に基づき、積極的な取り組みをお願いします。
2. 人口減少が今後も進むことが予測される状況を踏まえ、住居・福祉・医療・交通などさまざまな都市機能を集積し、可住地面積や人口規模に適した機能性の高いまちづくりについて、長期的な視野にたって取り組んでいただくよう要望します。

【 基本目標1 「魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち」 】

1. 後期重点プロジェクトである「たくましい産業の創造」を実現するため、本市の基幹産業である工業の振興を主体としながら、まちの活力を高めるため、商業や観光の振興にも積極的に取り組むよう強く要望します。また、市内の企業、店舗の効果的な情報発信の推進についても取り組みをお願いします。
2. 工業振興では、策定中の「工業活性化計画」の着実な実行の下、市内企業が保有している洗練された高度な加工技術の継承や企業間の連携による新たな付加価値の創造、医療や福祉、環境といった成長産業分野への参入など、本市の産業を支える市内中小企業の支援についてさらに積極的に取り組まれるよう要望します。また、雇用機会の拡大を図り、市内工業界に新たな風を吹き込めるよう、企業等の誘致についても引き続き取り組むことを要望します。
3. 商業振興では、市街地ににぎわいを生む魅力的な活性化施策を継続的に実施するとともに、空き店舗の解消を図るなど、中央通りを含む中心市街地、地域の商店街や個店の支援にも積極的に取り組むよう要望します。
4. 「岡谷ブランドブック」に掲げる「湖に映える美しいものづくりのまち」は素晴らしい言葉です。観光の振興を図るため、諏訪湖などの恵まれた自然環境や、シルク岡谷の歴史を伝える新蚕糸博物館、近代化産業遺産群などの歴史的資源、さらには地域の特産品の効果的な活用を図るなど、回遊性を高めるとともに、産業観光の取り組みを市民との協働により推進されるよう要望します。
5. 企業体質の強化や、後継者不足に対応するため、UターンだけでなくIターン、Jターンを含めた若年労働力の確保を図るとともに、女性の就労支援にも取り組むよう要望します。

【基本目標2「ともに支えあい、健やかに暮らせるまち」】

1. 市民の健康を守るため、各種健診の受診率向上や、感染症の予防に積極的に取り組むよう要望します。
2. 平成 27 年度に開院する岡谷市民病院について、医療環境の変化に柔軟に対応しながら、市民ニーズの把握と、健全な経営に努め、思いやりがある、市民に親しまれ信頼される病院となるよう強く要望します。
3. 後期重点プロジェクトのひとつである「輝く子どもの育成」のため、子育てに悩む家庭や、働きながら子育てをする家庭などに対し、子育てに関する相談体制の充実を図り、行政や地域、企業等が一体となったきめ細かい子育て支援についての取り組みを要望します。
4. 少子化対策については、未婚の男女が増えていることから、出会いの場の創出が必要となっています。こうした婚活事業については、広域的に、大きな規模で取り組むことが有効ですので、県や広域連合が行なっている事業の積極的な活用と支援を要望します。
5. 地域サポートセンターについては、地域福祉の推進はもちろん地域コミュニティをより活発にしていく面からも、設置の促進と、地域間の情報交換や設立後の支援について積極的な取り組みをお願いします。

【基本目標3「自然環境と暮らしが調和した、安全・安心のまち」】

1. 諏訪湖の浄化については、観光資源としての魅力を高めるためにも、県や近隣市町村との連携の下、積極的に取り組み、環境保全を図るよう要望します。
2. 生ごみを含む可燃ごみの減量と、ごみの分別、資源化を推進するとともに、不法投棄についても、条例に基づき監視体制を強化し、環境保全と循環型社会の実現に取り組むよう要望します。また、子どもエコクラブなど、環境活動に取り組む子どもたちの団体について積極的な支援をお願いします。
3. 市民が安心して生活できるよう、空き家の適正管理や防犯灯の設置など防犯対策に積極的に取り組むとともに、子どもの交通安全指導などについて取り組みを進めるよう要望します。
4. 再生可能エネルギー利用促進の取り組みについては、早急に取り組むべき課題であり、公共施設への導入も含め、積極的に推進されるよう要望します。
5. 近年多発する豪雨による溢水被害など、災害への対策は喫緊の課題であると思

ます。予期せぬ場所や規模の災害の発生を念頭に、平成 18 年 7 月豪雨災害の教訓を活かした災害発生時の情報提供に万全を期するとともに、県など関係機関と連携し、防災・減災対策を早急に進められるよう要望します。また、地域防災力の根底を支える組織であるとともに、地域の人材育成にも大きな役割を果たす消防団についても、団員確保への積極的な支援をお願いします。

【基本目標 4 「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」】

1. 青少年の健全育成のため、いじめや不登校などの課題に的確な対応を図るとともに、家庭問題や生活環境など、様々な課題を抱える子どもたちが安心して学び、育つよう、家庭、学校、地域が連携して支えられる環境づくりの推進を要望します。
また、放課後子どもの居場所づくりや学童クラブの充実を図り、子どもの自発的な成長を促す活動を含めた青少年活動の推進をお願いします。
2. 子育てに関する学校への依存度が高まり、教師の疲弊が指摘される中、学校と家庭、教師と保護者の情報共有の難しさなどから生じる様々な問題が心配されています。学校、家庭、地域がお互いの役割を再認識し、より一層連携を深めながら、未来を担う子どもたちの健全な成長を図るための仕組みづくりに取り組むよう要望します。
3. 新美術考古館や新蚕糸博物館、点在する史跡公園を最大限に活用し、製糸に始まるものづくりの伝統など、岡谷市独自の歴史、文化の継承と発展に向け積極的に取り組まれるよう要望します。新美術考古館については、市民による施設の利活用を促進するとともに、商店街の中という立地と、近隣の文化施設、生涯学習施設との連携を最大限に活用し、文化を核にしたまちづくりの推進に取り組むよう要望します。
4. 充実したスポーツ施設など、恵まれた環境を有効に活用し、幼少期からスポーツに親しむことのできる環境づくりや生涯スポーツのさらなる推進を図るとともに、公益財団法人岡谷市体育協会等と連携しながら、青少年を教えるスポーツ指導者の育成やスポーツ団体への支援を行うようお願いします。

【基本目標 5 「快適に生活できる、都市機能の充実したまち」】

1. 岡谷駅周辺をはじめとする中心市街地の整備や岡谷インターチェンジ周辺の実環境整備などについては、社会経済情勢の変化を的確に捉える中で、地域や関係機関等

と調整を図りながら、まちの玄関口としての魅力をより一層高めるよう、対応をお願いします。

2. 市営住宅の適正な管理について、単身高齢者が増加していることから、安心して生活ができるようきめ細かい対応をお願いします。
3. 人口減少に歯止めをかける移住・定住対策として、空き家の積極的な活用を要望します。
4. 子どもから高齢者まで誰もが憩うことのできる場所の充実を図るため、諏訪湖畔や日常生活に身近なまちなか空間に、安らぎの場を設けるための取り組みを積極的に進められるよう要望します。
5. 市民の安全な通行に配慮した、人や自転車にやさしい道路の整備を積極的に推進するよう要望します。特に、通学路については、子どもの安全が確保されるよう積極的な取り組みをお願いします。

【 総合計画の推進に向けて 】

1. 「市民総参加のまちづくり基本条例」の市民へのより一層の周知を図り、市民がまちづくりに参加する機会をさらに広げていくことにより、市民の参加意識の向上を図るとともに、行政と市民の役割分担のもと、協働により施策が推進されるよう要望します。
2. 市民のまちづくりへの参加を求めるため、わかりやすい情報発信により、市の取り組みについて理解してもらうことに加え、岡谷市を市内外へ向けて積極的にPRしていくことが重要です。あらゆる情報伝達手段を有効かつ積極的に活用し、必要な人に必要な情報が着実に届くよう努めることで、より開かれた市政運営を推進するようお願いします。
3. 岡谷市における行政と各区との連携・協力体制は有効に機能しており、たいへん重要なものですので、今後も積極的に連携を図るようお願いします。
4. 行政組織においては、部署間のさらなる連携強化を図り、効率的、効果的な施策の推進に取り組むよう要望します。
5. 行財政運営の効率化と事業効果を高めるため、広域圏または近隣市町村との連携を深め、広域的な取り組みを推進されるようお願いします。